



いしわら

5月号

令和3年4月30日

調布市立石原小学校

校長 江原 幸一

<http://members.jcom.home.ne.jp/isiwara-sho/>

「共育」のまなざし

副校長 三瓶 邦吉

前任校の時に大変お世話になった地域の方が4月8日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。その方は、学校行事等の度に子どもたちに励ましを送ってくださるとともに学校教育に対して積極的にご協力くださいました。また、常に教職員に信頼を寄せてくださいました。

「学校と地域は常に強い絆で結ばれていなければならない。」との思いを学ばせていただきました。地域と学校が一体となった防災訓練をはじめ、交通安全等で子どもたちが大変にお世話になり、安全で安心な学校生活を陰ながら支えていただいたことに感謝するとともに厚く御礼申し上げます。学校と地域の強い信頼関係が学校教育の充実に繋がったものと確信しています。

4月号で、本校に地域学校協働本部がスタートすることを掲載いたしました。これまでも、地域の方々には様々な場面で学校の教育活動にお力添えをいただけてきました。これからの社会の創り手となる子どもたちに、社会や地域と向き合い関わり合いながら学ぶ機会の実現に向け、更に地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長の支援を積極的に推進してまいります。保護者、地域の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

昨年の今頃とは違い、この4月の子どもたちの笑顔や躍動、やる気に満ちた姿を見ることができ、とても嬉しい気持ちになります。学年が一つ進級しクラス替えもあり、新たな担任の先生や友だちとの出会いがあり、「よし、がんばるぞ」

といった気持ちが随所で感じられます。

子どもたちには、伸びようとする力があります。学校でも教師が、子どもたちの学ぶ気持ちを受け留め、関わる中で、子どもたちのもつ力を伸ばし、子どもたちに充実感、満足感、達成感が得られたとき、教師と子どもとの間に信頼と安心の関係が築かれていくものと思います。子どもたちのやる気を促すためには、子どもを否定し、自信を失わせる方向ではなく、子どもたちのありのままの存在そのものを認め、自信を育む働きかけを絶えず行っていくことにあるように思います。そこで、学校では、全教職員ができることに責任をもって取り組んでまいります。

教育は、学校だけで完結するものではありません。子どもたちにはそれぞれお子さんの成長を願う保護者の皆様の存在があります。教師は、多くの方々の願いや期待を受け留め、お子さんの成長に向けて情報を共有し、共に育む「共育」のまなざしで進んでいけたらと願っています。

親子の関係に目を向けてみると、子育てに悩みをもたれている方、なかなか思い通りにはいかないという方もいらっしゃると思います。大事なことは、「焦らない」で、長い目で見ることも必要な時があるということです。失敗も経験ととらえ、再度のチャレンジを認め合える関係を築いていきたいものです。子どもも大人もそのように思えたとき、子どもたちにとって、家庭も学校も地域も安心の居場所となるのではないのでしょうか。